

柿 生 文 化

柿生郷土史料館 情報・研究誌
 住所: 川崎市麻生区上麻生 6-40-1
 柿生中学校内
 電話: 044-988-0004(柿生中学校)
<http://www.kakio-kyodo.com>
 第70号

江戸
時代

失明という障害を克服した偉人

塙 保己一(はなわ ほきいち)をご存知ですか

江戸時代 名著 「群書類従」を表す

ヘレンケラーが最も尊敬した人物



塙保己一 座像

江戸時代、塙保己一は延享3年(1746)5月、現在の埼玉県本庄市児玉町で篤農家の長男として生まれました。7歳の時、病気により失明。さらに、最愛の母を病気で失ったのが11歳の時でした。14歳のとき、失意のまま江戸に移住し仕事を探します。針・灸(きゅう)・按摩(あんま=マッサージ)等を習いましたが、上達せず、やがて江戸の旗本松平乗尹のもとで多くの古典を学びました。彼は、入手したり借用した書物を知りあいに読んでもらい、人並み外れた記憶力ですべてを記憶していきました。

保己一の書庫には約6万冊の書籍があったといわれ、そのすべてを記憶していたといわれますから、その能力といったら並大抵のことではありませんでした。

しかし、努力もなく記憶できていたわけではありませんでした。集中力を高めるために毎日「般若心経」を100回唱えたり、あるいは他人に何回も読んでもらうわけにはいきませんので、夏は蚊が飛んできて気を取られ、集中力が切れて聞き逃してしまわないよう両手をひもで縛って、じっと聞いていたという話が残っています。

保己一は、16歳の時、「人間は小さなことで感情的になって怒るようでは大業は成就しない。絶対にそんな気持ちにならない。」と年の初めごとに誓いを立て、生涯にわたって実行したそうです。

やがてこの努力が幕府にも認められ、将軍に「お目見え(直接面会できること)」が許されるほどになりました。また、34歳の時に、日本国内の膨大な数の書籍・文献資料の散逸を防ぐため自らが暗記した資料をもとに「群書類従」の編纂に取り掛かりました。収録した文献数1277種、総冊数665冊、版木数(原稿を彫った木の板)17324枚という数で、他には類を見ない大冊でした。柿生郷土史料館にも、江戸期に刊行された「群書類従」の中の「竹取翁物語」が収蔵されています。



保存されている「群書類従」の版木

実は、「塙保己一」の名は海外にもよく知られています。皆さんよくご存じの、アメリカの視力・聴力・会話の三重苦を背負ったヘレン・ケラー(1880~1968)は、母親から盲目の偉人塙保己一の話をよく聞いていたそうです。彼女が昭和12年4月に来日した際、『私は子供の頃、母親から塙先生をお手本にしなさいと励まされながら育ちました。今日、先生の像に触れることができたことは、日本訪問における最も有意義なことと思います。』という感想を述べています。塙保己一についてははかえって日本人のほうが知らないことが多いようです。



来日し「温故学会」を訪ねたヘレン・ケラー

塙保己一の生涯をたどってみますと、考えられない苦難の連続に遭遇した人生だったようです。しかし、この苦難を常に糧として前進する姿に勇気と希望を見出した人間は数多くいたのではないかと思います。

実は、この「群書類従」の版木17244枚が東京都渋谷区東2-9-1の温故学会に現在でも保管されています。版木は江戸時代後期の太田南畝(蜀山人)を始め当時の一流書家によって版下(木版を彫るための下書)が書かれ、彫師も当代一流の人物が名を連ねており、そのような意味からも貴重な歴史的資料といえるでしょう。

また、幸いなことに現在でもこの版木を使用した手刷り本(上質和紙による和装本)を頒布しています。

参考資料: 塙保己一の生涯と「群書類従」の編纂 (文: 板倉)

シリーズ

「麻生の歴史を探る」第40話

麻生の古道(1) 尊氏伝承道

小島 一也 (柿生郷土史料館相談役)

緑区鉄町と早野の境の尾根道に“鉄火松”と呼ぶ大松がありました。枝が蛇のもたげた鎌首のようだったので“おろち松”とも言われました。その昔、両村民が焼けた鉄棒を握って境界争いをしたことから、その名が付いたとの逸話があります。結果は早野村が勝ったことから鉄火松は早野側となりました。この松は昭和22年に枯れてしまい、現在は麻生老人クラブによって跡地に碑が立てられています。

この尾根道が“尊氏道”と伝承されています。鎌倉幕府が滅び建武の中興に成功した尊氏は弟直義との確執となりました。直義が鎌倉を占拠しますが、正平6年(1351)尊氏は是政で多摩川を渡り、稲城、高石、万福寺、早野、そして寺家、鴨志田、青砥(中山)と軍を進め、鎌倉で直義を死に追い込んでしまふと伝承されるのがこの道です。現在、ここでは早野聖地公園に伴う遺跡調査が行われていますが、縄文時代からの遺跡が発掘され、鎌倉・室町の時代この地に道筋があったことを証明しています。



鉄火松跡に立つ碑



並木の大松

この鉄火松から王禅寺に向かう黒須田境の稜線に“並木の大松”と呼ぶ樹齢600年ほどの4~5本の老松があり、中でも“太郎松”と称する松(黒須田側にあった)は推定樹齢1000年、樹高30m。これらの松は遠く麻生や三輪から望見され、その尾根道を示していましたが、惜しいことに昭和40年東急不動産の虹ヶ丘団地開発でその姿を消してしまいました。

この並木の松の道は、現在すっかり姿を変えた虹ヶ丘1丁目あたりから古刹王禅寺に通じており、それは元禄15年(1702)の早野村検地水帳に「並木町間数 百七拾貳間(310m)」(右の写真)と記されている(早野郷土誌)そうで、この松並木は現王禅寺観音堂の参道に接する小字門前に接していたようです。

門前とは王禅寺の表口で現在の虹ヶ丘東急営業所十字路一帯がこれに当たり、王禅寺には塔頭6寺があったのでその名がついたと思われます。この門前から通称「兎坂(うさぎざか)」と呼ぶ荏子田(えこだ)に通ずる幅6尺ほどの山道(すすき野小あたり)があり、この道はさらに石川・荏田に通じていました。荏田という前稿真福寺のあるところ、王禅寺末寺36寺中、荏田・石川に6ヶ寺、そのうち寺家・谷本・鉄とその半数を現青葉区内が占めていますので、尊氏道も兎坂もひと時の軍道で、王禅寺への参詣道であり、村と村を結ぶ里道であったのではないのでしょうか。そうすると、並木松の存在も門前の地名も一層頷けてまいります。



万福寺・高石への道は現王禅寺ふるさと公園の尾根を通りました。ここには近世草競馬の跡が残



尊氏道 右側が現王禅寺ふるさと公園

されており、王禅寺裏門に達しますが、裏門坂とは文字通り王禅寺の裏門があったところで溝の口道とも呼び、日吉の辻があり東進すると通称山王坂(さんのうざか)を超え保木から石川~荏田へ、北進すると高石・菅尾に至っていました。この裏門坂は昭和7年幅9尺ほどの尾根道を崩して切通し(現野川柿生線)としましたが、古老の話ではその道筋は弘法の松に沿って延びていたそうで、ここには王禅寺の墓地古蘭塔(ふうらんとう)があり、その西側に堀割状の古道が今でもわずかに残されています。

参考資料:「ふるさと早野を語る(郷土誌刊行会)」「歩け歩こう麻生の里(麻生老人クラブ)」「青葉のあゆみ(青葉区役所)」

シリーズ 黒船来航

開国秘話 (6)

小林 基男(柿生郷土史料館専門委員)

◆ペリー艦隊の弱点◆

ペリーが日本側の返事も待たず、僅か9日の滞在で、日本を後にした本当の理由は、彼の日記に記されています。ペリーは、食糧の備蓄が十分でないことを危惧し、交渉が長引いた場合に、途中で引き上げざるを得なくなり、交渉そのものが失敗に終わって、墓穴を掘ることになる可能性がある、と考えていたのです。

戦闘に訴えることが出来ないことの弱みが、ペリーをして、早期の日本からの退去を決断させたのです。ただし、彼は本国アメリカに向かったわけではなく(それには食糧も燃料も足りません)、琉球に立ち寄り、そこで水や食糧を得ると、翌年の日本再訪まで一度も本国に帰らず、中国沿岸や琉球、小笠原諸島などで時を過ごしています。

◆幕府の対応◆

さて幕府はどうしていたでしょうか。外洋船を持たない幕府には、ペリー艦隊を追跡し、行き先を偵察する能力はありません。そこで幕府は、翌春とされたペリー艦隊の再訪に備え、対応策の検討に取り掛かりました。陣頭指揮に当たったのは、35歳の老中阿部正弘でした。阿部は、23歳で福山藩10万石の藩主から老中に抜擢されています。そして25歳の若さで老中首座に就任、すぐに並々でない指導力を発揮した逸材でした。1854年には59歳になっていたペリーとは、親子ほどの年の差がありました。

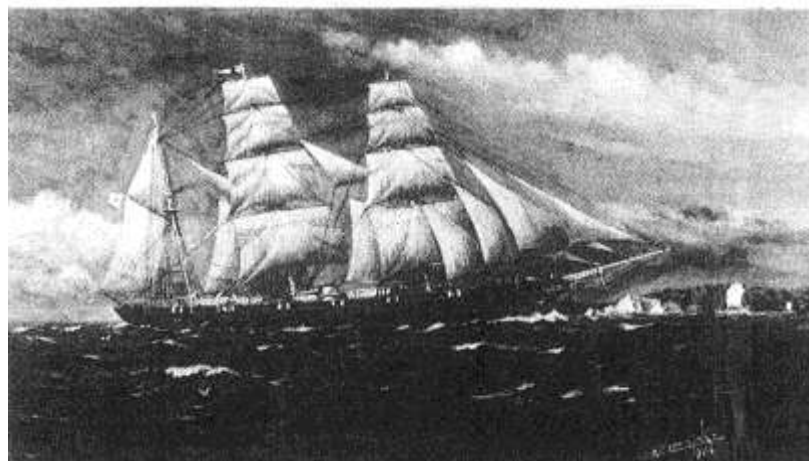
阿部は、若さを武器に思い切った手を連発して、未曾有の国難に当たります。彼は、受理したアメリカ大統領の国書を回覧に付し、広く各界の意見を聴取したのです。受理した7月14日の2週間後、7月31日のことでした。老中が各界の意見を求めるなどということは、当時の日本では、まさに前代未聞の出来事でした。

阿部老中の下に集まった各界の意見書は、現存するものだけで71通にのぼります。大名もあれば、藩士もあり、幕臣もあれば、学者もあるなど、多様な層からの意見書が集まりました。それだけではありません。町人からも意見書が出されました。「商」と区分された意見書の中には、吉原の遊女渡世「藤吉」と記された男からの意見書も存在するので、驚きです。

意見書の内容は、現状維持の鎖国継続論、最小限の開国で止めるべしとする消極的開国論、そして積極的な開国論の三様の意見がほぼ拮抗する状態でした。

さて、阿部の意見聴取から、僅か2ヶ月足らずの9月28日、老中の「大船建造」に関する下問がなされます。阿部は、アメリカ大統領国書への対応と「大船建造」とが、論理的に関連すると考え、世論の形成を睨んで下問したと、後に語っています。それでも、この問題では民意は盛り上がり、提出された意見のほとんどは、解禁案だったと言われます。廻船の海難事故を回避するために、早く大型蒸気船を導入すべしという意見や、「やがて開港して貿易が始まれば、日本も外洋船を持たなければなるまい」とする意見、さらには「幕府も海軍を持たないと外国の軍艦に対抗できないから、蒸気軍艦を早期に購入すべきである」といった意見が主だったものでした。

この下問から僅か3週間後の1853年10月17日、解禁を伝える老中の「達し」が出されます。大船は外洋航海のための船ですから、この「達し」は、鎖国体制の最重要の柱であった日本人の海外渡航禁止を、解除することを意味しました。ここに、3代将軍家光以来の幕府の大方針が、あっさり転換されたのです。条約締結以前に、幕府は自らの意思により、鎖国の祖法を解いてしまったのです。



咸臨丸 (山高五郎氏筆 咸臨丸復元保存協会蔵)

翌54年の日米和親条約の締結を、無策の幕府が追い込まれた上で結ばされたものとする、明治以来の伝承が、いかにある政治的意図の下に、巧妙に作られた虚構だったか、この一時をもって、皆さんにも納得していただけるだろうと、私は考えます。

阿部老中のその後の動きも、素早いものでした。彼は、解禁の「達し」と同時に、鎖国時代から付き合いの深かった、オランダ商館に蒸気船を発注します。この時発注した数艘の船のうち、1857年に到着した船が、3年後の1860年に勝海舟を艦長に、福沢諭吉やジョン万次郎らに乗せ、太平洋横断に成功する咸臨丸(上の写真は設計図を忠実に復元した総帆図で、最も実物に近いと評されているものです)です。



老中 阿部正弘

(続)

柿生郷土史料館開館日のご案内 (入場無料)

◎開館日: 奇数月は毎日曜日、偶数月は毎土曜日

3月 2・9・16・23日(毎日曜日) 注:30日は休館です 4月 5・12・19・26日(毎土曜日)

◎開館時間: 午前10時～午後3時

柿生郷土史料館3～4月の催物ご案内 (入場無料)

第6回 実物のミニ歴史資料展

塙保己一(はなわ ほきいち)と群書類従

展示品 「竹取翁物語」「十七カ条憲法」 他

展示日 3月9日・16日・23日(いずれも開館日の日曜日)

内容 ◎塙保己一著作の群書類従の一部を展示します。

◎塙保己一の生涯について考えてみます。

第7回 実物のミニ歴史資料展

明治6年 太陽暦に替わった日

展示品 「明治5年 太陰暦」「明治6年 太陽暦」「江戸期伊勢暦」「改暦辨(福沢諭吉著)」他

期間 4月26日(土)～6月28日(土)

(開館日: 4月26日・5月⇒日曜日・6月⇒土曜日)

内容 明治6年太陽暦が採用されました。国内の混乱と改暦の意味を考えます。



平成26年度 柿生郷土史料館「友の会」会員募集

当館の運営費用は「友の会」会費で賄われております。多くの皆様のご支援が必要です。なにとぞ、ご協力のほどよろしくお願いいたします。(現在「友の会」会員は160個人・団体)

◆会員の種類 ・一般会員(年会費 2000 円) ・賛助会員(年会費 3000 円) ・法人会員(年会費1万円)

◆会員の期間 ・平成26年4月1日～平成27年3月31日(1年間)

◆申込方法 ①セレサ川崎農協東柿生支店に振り込んでいただく

・現会員の方:ご自宅、団体に振込先記入済みの振り込み用紙を郵送します

・新規にお申し込みの方:振り込み用紙に下記の振込先をご記入の上お振り込みください

(金融機関)セレサ川崎農協 東柿生支店 (振込先)柿生史料館代表 久保倉良三 (口座番号)普通 0013802

②直接史料館へ開館日にご持参いただく(会費、氏名・住所・電話番号、会員の種類を同封ください)

③お近くの史料館支援委員に直接お渡しいただく(内容は同上)

◆その他

・お申し込みは3月末日までよろしくお願いいたします

・3月までにお申し込みの方には4月より「柿生文化」を郵送します

感謝! 柿生郷土史料館の活動にご支援いただいている法人をご紹介します 61法人(順不同・敬称略)

- 月読神社●琴平神社●王禅寺●常安寺●浄慶寺●麻生総合病院●とん鈴●フィッシュ・オン王禅寺
- ゆりストア王禅寺店●柿の実幼稚園●丸和企画印刷●ささらプロダクション●カジノヤ●菊川園
- 三共エステート●柿生恒産●虹の里養護施設●アルナ園●柿生保育園●たま日吉台病院●大平屋
- 川崎信用金庫柿生支店●青戸建材店●尾作材木店●J Aセレサ川崎●志田電子製作所●広東商事
- 朝日ホーム●山義産業●カラオケゆう●観財●奈良工業●栄和●スズユウ商事●リック設計企画
- レストヴィラ王禅寺●レストランベル●北島工務店●麻生自動車●粕谷住宅資材●ガスト柿生店
- 石野電気柿生店●ノジマNEW鶴川店●松屋●プライマリー●ゲオホールディングス●志村建設
- 尾作住宅●誠和産業●花島商事●ティーエムコーポレーション●神奈川トヨタ自動車●和光大学
- フラワーショップまきば●サイトー農芸●小料理わかば●荒川電気工事●栄運輸●美容院ルシル
- リフォームイケダ●孝友商事